

白山の火山活動解説資料（平成 28 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

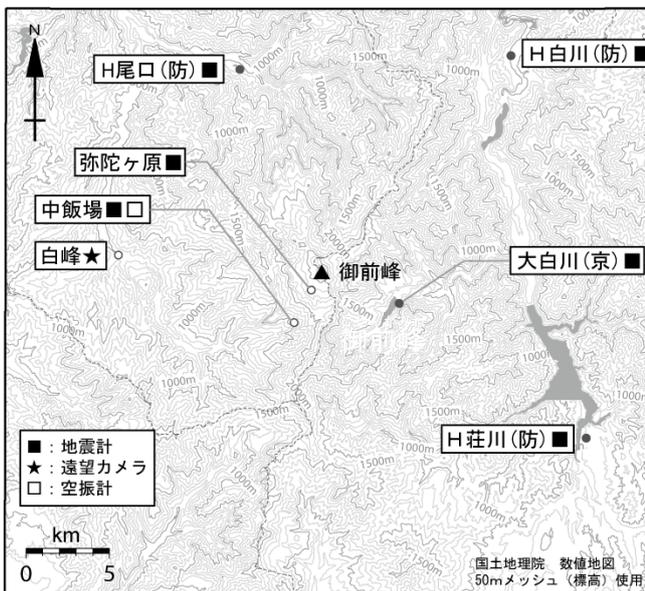
○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

白峰遠望カメラ（白山山頂の西約 12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3～4）

白山付近の地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されていません。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(防)：防災科学技術研究所、(京)：京都大学防災研究所

図 1 白山 観測点配置図

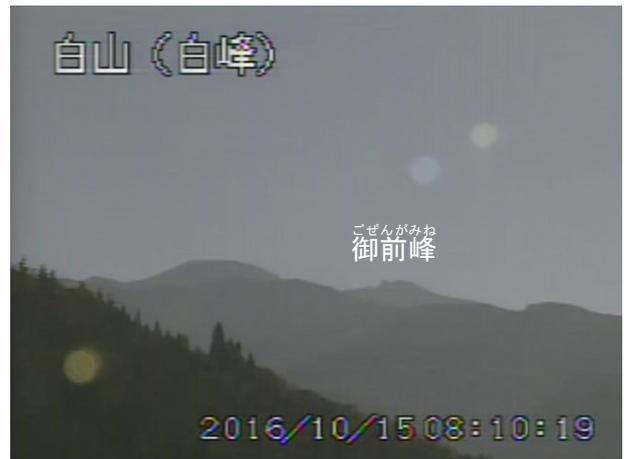


図 2 白山 山頂部の状況
(10月15日 白峰遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 11 月分）は平成 28 年 12 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、東京大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 26 情使、第 578 号)。

計数基準

初期：弥陀ヶ原（2005 年 12 月 1 日～2011 年 9 月 30 日、変更②2014 年 9 月 18 日～）

振幅 1.0 $\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.5 秒以内

2014 年 12 月 16 日

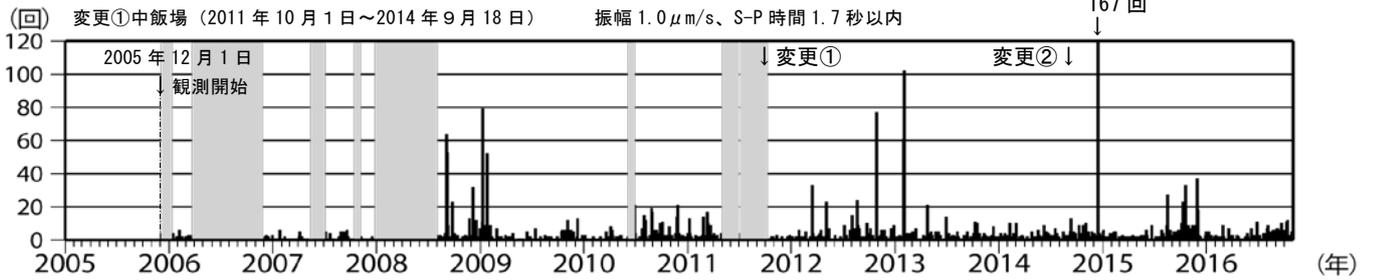


図3 白山 日別地震回数（2005 年 12 月 1 日～2016 年 10 月 31 日）
・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間

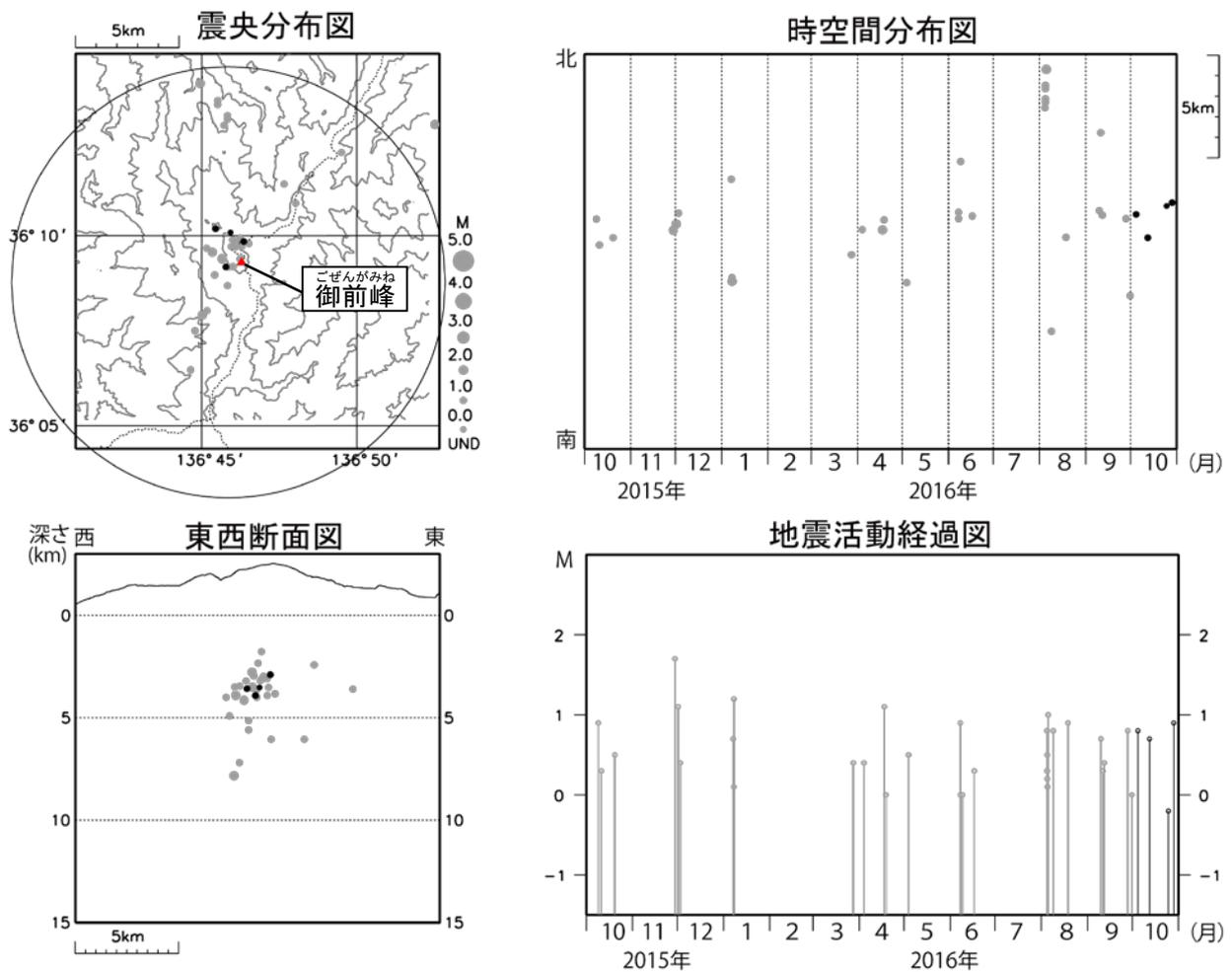


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2015 年 10 月 1 日～2016 年 10 月 31 日）
●：2015 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日 ●：2016 年 10 月 1 日～10 月 31 日
・ 震央分布図中の円は図3の計数対象地震（弥陀ヶ原でS-P時間1.5秒以内）のおよその範囲を示しています。
・ M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
・ 図中の震源要素の一部は暫定値が含まれています。